

## 「神は細部に宿る」というか宿らせる

細部を磨くことが全体を変えらるということにつながると考えたことはあるでしょうか？大きな成果を求めるときに、ついつい「全体像」ばかりを気にしてしまうことはありませんか？完成した作品の見栄え、あるいは活動での最終的な評価などです。けれど本当の意味で全体を支えているのは、意外にも「細部」だということに気づいている人はどれくらいいますか。細部とは、見落とされがちな小さな工夫や手間のことをいいます。作品を作る場合はほんの数ミリの線の角度、作文であれば一つの文章の言い回し、ダンスなら指先は伸ばすのかなどです。それらが積み重なることで、全体は自然と強さと美しさを持ち始めるそうです。

細部は「無意識に伝わる」と言われています。人は全体を意識して作品を見ると思われがちだが、実際には細部の積み重ねに心を動かされているそうです。たとえば料理では、全体として「美味しい」と感じるのは、調味料の配合や火加減という細部のバランスが取れているからだそうです。デザインでも、余白や色味の統一が整っていると「なんとなく心地よい」と感じることに繋がります。つまり、細部は無意識に人の心に届くのです。

逆に細部が乱れていれば、全体に違和感を与えてしまうということになります。細部を磨く姿勢が全体の質を決めるので、細部を軽視すると「とりあえず形になればいい」という妥協が積み重なっていくことになります。一方で、細部を大切にすることは、自然と全体の質を底上げしていることになります。音楽家は一音の響きにこだわり、作家は一文のリズムにこだわり、ダンサーは指先までこだわるでしょう。そのこだわりが、やがて全体の完成度を引き上げるのです。「全体を良くしたいなら、細部を丁寧に扱え」これは、どんな分野にも通じる普遍的な真理だと思います。細部を磨く作業は、時に報われないように感じるかもしれないですね。だって他人からは気づかれず、評価もされにくいと思う人もいるでしょう。しかし、その積み重ねこそが「継続の証」になるのです。誰にも気づかれなくても、確実に全体は変わっていくことにつながります。そしてその変化は、ある日「一段上がった自分」という形で表れることになります。

全体を変えらるのは、壮大なアイデアや劇的な一手だけではないのです。小さな細部を丁寧に磨き続ける姿勢も最終的には全体を変えらるくらいの変化へとつながります。細部は無意識に伝わり、全体の印象を決めることになります。細部を磨くことは継続の証であり、細部を大切にする心こそが、全体を変えらる力を持っているのです。

**だからこそ、今日も細部を磨こう！！その小さな一歩が、やがて全体を変えていくのだから！！**



来週から体育祭特別日課が始まります。水アビ、浄水リレー、長縄跳びなどの種目でも考えたり、練習したりするのが辛くなる瞬間があると思いますが、「これくらいでいいかな」と「妥協」してしまうのか、「ここが勝負どころだ！」と「細部までこだわる」のかで大きく変わることになると思います。中学校生活最後の体育祭をどんな行事にしますか？

## 荷物をそろえろと気持ちもそろえろ

生活の中での細部とは何なのでしょう。いろいろあると思いますがその中でも今日は「整理整頓」について伝えたいと思います。水曜日に「合同帰りの会」を実施し、合唱の練習を行いました。荷物の整理整頓を気にかけて人はどれくらいいたのでしょうか？そして、まとまりもなく、落ち着きもなく始まった合唱練習でした。

「かばんをそろえること」が、どうして仲間との活動に役立つのか。それは次の3つの力が養われるからです。

## ① 気づく力

整理整頓をするには、まず「気づく」ことが必要です。「あれ、かばんがバラバラに置かれてるな」と気づく力がなければ、行動には移せません。この「気づく力」は、集団で活動する中でも重要です。「あの振付け、少しずれてる」「あそこのタイミングが少しだけ違う」と気づけるかどうかで変わります。

## ② 揃える力

かばんをそろえるとき、周囲を見て「どの位置に置けばいいか」を考えます。これは集団での活動でいうと「チームで動きを合わせる力」と同じです。これができる人は、試合中でも周りとの連携が取りやすくなります。

## ③ 自ら動く力

整理整頓は、誰かに言われてやるものではなく、自分から動くことが大切です。「気づいたら動く」ことができる人は、カバーリングがうまくなったり、周りを助けたりことができるようになっていきます。

結局、チームは「言われる前に動ける人」がたくさんいた方が強いんです。学校生活は集団での行動が多いです。「自分がよければ」という考えが思いもよらない崩れへとつながることが多くあります。周りを気にかけることができる人は、周りから気にかけてもらえる人です。気づける人は、気づいてもらえる人です。お互いのことを気にかけて合い、お互いに気づくことができる「学級」になっていきたいですね。まずは身の回りのできることから。でも、細部へのこだわりは忘れないことが大切だと思います。学級づくりは全員で進められるようにしていきましょう。



「来週以降の予定」

日	曜	内容	下校
20	月	⑤⑥新入生歓迎会	15:10
21	火	全国学力状況調査 体育祭特別日課開始(~5/20)	16:10
22	水		16:10
23	木	全国学力状況調査	16:10
24	金		16:10
25	土		
26	日		

日	曜	内容	下校
27	月	委員会(15:15下校)	14:20
28	火	⑤授業参観 ⑥⑦修学旅行説明会	16:10
29	水	昭和の日	
30	木	⑦なし	15:15
1	金		16:10
2	土		
3	日		

学級担任・教科担当

学級	担任	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	体育	技術	家庭
31	■	■	■	■	■	■			■		
32	■	■	■	■	■	■			■		
33	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
34	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
35	■	■	■	■	■	■			■		
36	■	■	■	■	■	■			■		

**3 歩進んで  
2 歩下がる**

成功の裏には必ず失敗や苦勞がある  
その経験にも大切な学びが詰まっている  
少ししか進んでいないように見えても

**その 1 歩には  
5 歩の価値がある**